

# BUILDING MAINTENANCE NEWS

VOL.297

1月号  
2014年

愛知



一般社団法人  
愛知ビルメンテナンス協会

発行・編集 一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報委員会 / E-mail aichibm@iilac.ocn.ne.jp URL(アドレス)http://www.aichi-bma.jp  
〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階 TEL 052-265-7536 FAX 052-265-7537

## 今月の視点

## 新年挨拶

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会  
会長

加藤 憲司

新年、明けましておめでとうございます。

日頃ご指導いただいております関係官庁、関係の各団体、そして会員の皆さまにおかれましては、清々しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年の日本経済を見ますと、アベノミクス効果により景気も少しずつ上向きつつあり、さらに東京オリンピック開催が決まったことにより上昇は加速すると期待されます。当地区におきましても、名古屋駅周辺の超大型ビル群の建設着工、リニア新幹線の具体化など、期待はより高まっております。

そういう中ではありますが、当業界におきましては、厳しい人材不足、最低賃金アップに代表される経費増大、消費税アップ、さらには2年後の社会保険適用拡大など、依然として難しい経営環境にあります。第三・第四の矢が放たれ、それが的中しないことには、ほんとうの景気回復は期待できません。

こうした難しい環境であればこそ、我々は業界として団結し、乗り切っていかなければなりません。

当愛知協会はこの2月に発足50周年を迎えます。6月

には記念行事を行うべく、目下、準備に邁進しているところであります。その事業の一環として50年史の編集も進めておりますが、よき伝統は継承発展させ、改むべきは勇気をもって改革していかねばなりません。協会員の皆さま全員が、この協会員でよかったと感じられるような運営を目指したいと決意しているところであります。

そのために、「協会とは何か?」を根本的に見つめ直し、会員にとって魅力のある活動を展開していきたいと考えております。一企業ではできないことを、協会という組織で実行したいのです。具体的な施策につきましては、今後計画立案し、皆さまと協議して実行して

まいります。

会員の皆さまにおかれましては、協会の各事業にこれまで以上に積極的にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

この一年が皆様にとりましてより良い年でありますことを心より祈念申しあげて、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新春を迎えて

愛知県知事

大村 秀章



あけましておめでとうございます。

県民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められ、景気が緩やかに回復に向かうなど、ようやく明るい兆しが見えた年でした。このような中で、日本一の産業県・愛知が我が国の産業経済を牽引していくという決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年は、こうした取組を一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れた地域づくりをしっかりと進めてまいります。

このため、産業空洞化対策減税基金による日本一の補助制度を活用した企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙や次世代自動車を始めとした次世代産業の育成・振興、民間の力を引き出す規制改革の実現など、産業力の革新的強化に全力で取り組んでまいります。

また、元氣な愛知の基盤となる人づくりとして、愛知の産業を支えるモノづくり人材の育成、世界を舞台に活躍するグローバル人材の育成などに取り組んでまいります。

さらに、利便性の高い交通体系の形成や、農業の高付加価値化、観光魅力のPR強化などにより、愛知の総合力を一段と高めてまいります。そして、女性の活躍推進・子育て支援や、障害者・高齢者福祉を始めとした福祉・医療の充実、交通安全、地震防災対策の強化はもとより、学術、スポーツ、文化、芸術面の魅力向上に取り組み、住みやすく、住んでいて楽しい地域づくりにも力を注いでまいります。

また今年秋には、「ESDに関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」が開催されます。地域が一丸となって成功に導き、愛知の魅力为全国・世界に向けて発信してまいります。

これらの取組を通じて、「日本一元氣な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成26年元旦

## 世界のナゴヤ、 本物ナゴヤ、 ぬくとい市民

名古屋市長

河村 たかし



あけましておめでとうございます。一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は建築物の衛生管理業務を通じて、公衆衛生の向上にご協力をいただいておりますことに深く感謝いたします。

昨年4月の市長選において、私は「世界のナゴヤ・本物ナゴヤ・ぬくとい市民」を掲げました。税金を払うほうが苦勞し、税金で食っているほうが楽をする社会ではいけない。庶民革命を実現したいというのが、従業員数名の家業経営の苦勞を体験してきた私の原点です。今後もパブリックサーバントであるという覚悟を忘れることなく、福祉に教育に“あったきゃあ”市民を目指して市政を進めてまいりたいと考えています。

さて、名古屋市では、多様化・複雑化する市政の課題に的確に対応し、市民ニーズに応えていくため、長期的展望に立ったまちづくりを明確化する次期総合計画を今年策定するべく作業を進めています。2027年開通予定のリニア中央新幹線は、2014年度中の着工が予定されるなど、いよいよ現実味が増してきています。東京へ人口や資本が吸い取られるスロー現象が懸念されますが、逆に東西から吸い取るほどに、魅力と活気にあふれる「世界のナゴヤ」となるには、人々から“おもしろい”と言ってもらえるまちでなければならぬと考えています。

名古屋には、本物の草薙剣を有し、1900年の歴史を持つ熱田神宮や、古墳時代の縮図と言われるほど古墳が密集する守山区上志段味地区など、数多くの歴史的・文化的資産があります。また近代、産業に支えられ発展した名古屋ですが、そのルーツは、江戸時代に尾張藩が大切にされた木曾ヒノキとその加工技術にあり、ものづくり分野でも厚みのある歴史があります。これらの魅力に磨きをかけ、本物性を追求して、日本を牽引する“どえらけにゃあおもしろい”まちを目指してまいります。

世界と戦える強さと、身近であたたかい民主主義を兼備した、歴史に残るまち名古屋に向けて、全力で取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成26年元旦

## 新春のご挨拶

愛知労働局長

新宅 友穂



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、労働行政の推進に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。引き続き本年も、一層のご支援をお願いいたします。

さて、昨年は、長らく続いていた円高が是正され、全国的にも景気の緩やかな回復が見られた年でありました。とりわけ本県におきましては、基幹産業である自動車産業が北米等での好調な販売等により生産が堅調であるなど、大企業の業績改善が徐々に中小企業にも波及し、製造業の求人数も平成20年のリーマンショック前の水準まで回復し、雇用情勢は着実に改善が進んでまいりました。

しかしながら、海外経済の動向や生産の海外シフトの進展等から正社員の採用に慎重な企業が依然として多く、求人増加は非正規雇用求人によるところが大きいのが実情です。正社員求人の割合はこのところ低下傾向にあり、安定した就職を目指す多くの求職者にとって、まだ厳しい状況が見られます。景気回復がさらに進み、雇用情勢も一層改善していくことを期待しています。

また、中長期的にみれば、少子高齢化の進展により社会を支える就業者が大きく減少すると見込まれています。社会の活力を維持し発展させるためには、若者、女性、高齢の方、障害のある方など、働く意欲のある人誰もが働くことができる「全員参加型の社会」の実現が大事であります。さらに、非正規雇用労働者が増加を続けており、雇用の安定と処遇の改善を進め、「ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」を実現することも大きな課題であります。

こうした状況の中、愛知労働局としては、我が国の将来を担うべき若者の安定した雇用を確保することを当面の最大の課題と位置づけています。新規学校卒業予定者の就職環境は、引き続き厳しい状況にあり、「愛知新卒応援ハローワーク」を中心に、大学・高校と密接に連携し、未内定就活生等への個別支援に力を入れてまいります。さらに、「若者応援企業宣言」を行い、若者の採用・育成に積極的な中小企業に対する支援を強化し、良質な雇用機会の確保・提供に努めます。

また、若者の「使い捨て」が疑われる企業等が社会的な問題になっていることを踏まえ、昨年9月に集中的な監督指導を実施したところですが、引き続きこれらの対策を推進するとともに、恒常的に違法な長時間労働が行われ、健康確保措置も行われていないなどの悪質な事案については、厳正な対応を行うこととしています。

さらに、第12次労働災害防止推進計画に基づく各種対策、特に化学物質による健康障害防止対策を推進するとともに、女性の活躍を促進し、経済の活性化に寄与するポジティブ・アクションの取組も積極的に進めてまいります。

愛知労働局においては、これら施策をはじめ、「雇用の安定」と「安心・安全・健康に働ける職場づくり」のために、関係機関・団体等と連携し地域の実情を踏まえて、課題に積極的に取り組み、労働行政の的確な推進に全力を注いでまいります。

最後に、本年の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年を迎えて

愛知県健康福祉部  
健康担当局長

加藤 昌弘



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから本県の健康福祉行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、今年で創立50周年の節目の年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げますとともに、今後とも、ますます、ご発展されますことをお祈り申し上げます。

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」いわゆる「建築物衛生法」が、昭和45年に制定されてから約40年経過します。その間、建築物は高層化、大型化し、設備や管理も著しく高度化、複雑化してまいりましたが、貴協会の御尽力で、建築物の衛生水準が着実に向上してまいりましたことに感謝申し上げます。

さて、本県においては、建築物のねずみ・昆虫等防除の実施において、建築物所有者等に「総合的有害生物管理」いわゆるIPM (Integrated Pest Management) の考え方を取り入れた人の健康や環境に配慮した建築物の環境衛生管理の周知を図っているところです。

昨年からは、建築物所有者、ビルメンテナンス業者、ペストコントロール業者及び行政が一同に介してIPMを推進するための方策について協議等をする場である「IPM推進講習会」を開催し、IPMに基づくねずみ昆虫等防除の知識普及・充実に努めています。貴協会におかれましては、引き続き、ご協力いただきますようお願いいたします。

また、本年2月6日(木)には、名古屋市教育センター(熱田区)において、より快適な建築物の環境を目指すことを目的とした第28回愛知県建築物環境衛生管理研究集会を開催いたします。同会の特別講演といたしまして、中部大学総合工学研究所教授 武田邦彦氏に「建築物と環境衛生」について、御講演していただきます。会員の皆様方におかれましては、建築物における衛生的環境の管理について、一層の理解を深めていただくために、是非ともご参加いただきたく存じます。

最後に、本県といたしましては、今年も県有施設において引き続き薬剤の適正使用に努めることはもとより、人の健康と環境に優しいIPMについて、市町村や建築物の所有者・管理者等へ普及啓発していく所存ですので、貴協会におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 新年のご挨拶

愛知県警察本部生活安全部長  
荒井 正道



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

愛地ビルメンテナンス協会の皆様には、旧年中は、警備業務を始めとしたビルメンテナンス業務を通じまして、犯罪や事故の未然防止に真摯に取り組んでいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

また、貴協会は、本年2月にめでたく設立50周年の節目を迎えられるということであり、重ねてお慶びを申し上げます。

設立以来、協会の果たしてこられた社会的御貢献、御功績は、まことに多大なるもので、皆様方の永きにわたるご尽力に対し、謹んで敬意を表する次第であります。

さて、愛知県警におきましては、「安心」して暮らせる「安全」な愛知の確立を警察運営の基本目標に掲げ、犯罪抑止活動等に取り組んでいるところでありますが、県内の犯罪発生状況は、刑法犯認知件数で89,885件(昨年11月末現在)となっています。

これは、前年に比べて7,259件、7.5%の減少、最も認知件数が多かった平成15年の半数以下となっており、県内の治安水準は改善に向かっている状況にあると言えます。

しかしながら、一方で、住宅対象侵入盗や強盗等の県民の財産等を狙う犯罪が多発傾向にあることに加え、スーカー・DV事案、児童虐待事案等、女性や子ども等の社会的弱者に危害を与える犯罪も後を絶たない状況です。

警察としましては、県民の皆様の信頼に応えるため、各種犯罪の取締りとともに、犯罪被害を発生させないための諸対策、さらに、県民の安心感を高めていくための取組みを推進してまいり所存ですが、警察の力だけで良好な治安を確保することはできません。

安全で住みよい地域社会を実現するためには、自主防犯活動が不可欠なものであり、皆様方の業務は、正に、こうした社会的要請に即し、犯罪に強い社会の実現のために、極めて重要な役割を担っております。

安全・安心に対する県民の要請、信頼に応えるためにも、今まで以上に質の高いサービスの提供が求められているところであり、皆様方におかれましては、高度な知識と技術を持った人材の育成に御尽力を賜り、本年も引き続き治安回復のためにお力添えいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、愛知ビルメンテナンス協会がなお一層の充実と発展を遂げられますことを祈念するとともに、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成26年元旦

## 年頭のご挨拶

名古屋市消防長  
野田 和義



新年あけましておめでとうございます。

平成26年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会員の皆様には、日頃から市民の安心・安全のため献身的にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災から間もなく3年が経過し、南海トラフ巨大地震への対策が急がれる中、昨年を振り返りますと、9月の台風18号では初めての特別警報が発令され、10月には台風26号により東京都大島町で24時間雨量が824ミリに達し、土砂災害による甚大な被害が発生いたしました。

また、海外に目を転じてみますと、フィリピンを襲った台風30号は最大風速80m超を記録し、未曾有の被害をもたらしました。地球温暖化の影響などで、今後も台風の巨大化等が懸念されており、地震対策と風水害対策を着実に進めていかなければなりません。

そうした中、名古屋市消防局においては、地域防災力の向上を図るため、地域での集まりなどに消防署員や消防団員が出向き、家具の転倒防止や家庭内備蓄など、市民が地震から生き残る手段を啓発し、その実施を促がす「自助力向上の促進事業」を昨年4月から開始いたしております。

南海トラフ巨大地震などの発災直後に発生する火災や救急・救助に対して、現有消防力ですべてに対応することは不可能であり、そうした火災等を少しでも減少させるため、この事業を本年も一層推進してまいります。

そして「自助」の意識向上が「共助」を育てることを念頭に、行政が担う「公助」の防災力を高め、市民・企業・行政の総力を結集して、災害による被害を出さないようにする防災と、被害を最小限に抑える減災をバランスよく進めていきたいと考えております。

防災力を向上させ減災を推進する上で、防火・防災業務にご尽力いただいている皆様のお力は益々重要なものとなっております。本年も消防・防災行政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会並びに貴会員各位の益々のご発展、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。



副会長 水藤 維人



副会長 吉田 治伸



理事 本多 清治



理事 勝野 隆



理事 堀口 弘



理事 上道 廣巳



理事 田中 宏



理事 福岡 輝道



理事 山口 義浩



理事 新原 正也



理事 酒井 秀京



監事 大澤 隆



監事 加藤 義幸



監事 八木 伸二



相談役 武村 節雄



相談役 吉田 銑三





## 忘年懇親会



平成25年12月13日(金)アイリス愛知において恒例の忘年懇親会が開催されました。

吉田副会長の開会の言葉、加藤会長の挨拶の後、ご来賓の筒井タカヤ県議会議員の祝辞、横井衛全国建築物飲料水管理協会会長の乾杯の音頭で開宴となりました。宴も進み和やかな歓談も広がる中、恒例となったビンゴゲームが始まりました。趣向を凝らした商品もたくさん用意され、当りが出ると大きな歓声が沸き上がっていました。



最後に福岡総務厚生委員長の閉会の挨拶で無事終了となりましたが、参加された会員の皆様にとって素晴らしい一夜になったのではないのでしょうか。(来年度からは、忘年懇親会から新年賀詞交歓会へと衣替えする予定です。平成27年1月16日(金)の予定)衣替えをしても、会員さんの貴重な交流の場となることと存じます。)



## 平成25年度労働安全衛生パトロール実施報告 労働安全衛生委員会

実施期間	平成25年11月7日(木)～11月25日(月)延べ6日間
実施場所	会員が業務を行っている事業所のうち清掃管理業務の現場8ヶ所、設備管理業務を行っている現場2カ所を選定しパトロールを実施した。 (協力を頂いた会員) 朝日メンテナンス工業(株)、新生ビルテクノ(株)、東海美装興業(株)、東宝ビル管理(株)、(株)名古屋テレビ事業、名古屋ビルサービス(株)、(株)ビル代行、(株)丸栄エイセイクリーン、(株)名鉄クリーニング、(株)モダン装備
パトロール員	13名(労働安全衛生委員会委員)
実施方法	2名1組で各事業所を訪問し、あらかじめ示した清掃管理業務21項目、設備管理業務17項目について聞き取り、現地確認を行い5段階評価を行った。
実施結果	(清掃管理業務) 対象8事業所の平均点は5点満点で4.3点。最高4.95点。 (設備管理業務) 対象2事業所とも全て満点。
概況	(改善を要する事項) ・業務仕様書や日報、器具の定期的な点検記録の未整備などところがあった。又、緊急連絡網の未整備などところがあった。 ・資機材を消火栓の前に置いたり、資機材倉庫に保管していても床に直接置くなど不備と思われるところがあった。 ・洗剤の原液をペットボトルの空き容器に入れ保管・使用しているところがあった。(ボトルの劣化による液漏れ等のおそれ) ・マスターキーをポケットに入れたまま作業をしているところがあった。(紛失し、お客様に損害を及ぼすおそれ) ・清掃作業において、ビル利用者が清掃区域内に入らないようにする措置が不十分などところがあった。(立て看板だけでなく、カラーコーンとポールを併用するよう指示) ・床洗浄機の充電用コードがテープで補修していたところがあった。(交換を指示) ・控え室に設置した高さのあるガラス扉付食器棚に地震対策がされていないところがあった。
措置	今後の労働安全対策に参考にしていただくため、改善内容を記載した実施報告書を対象となったそれぞれの会員へ提出した。

## 普通救命講習Ⅱ

平成25年11月26日(火)及び12月5日(木)の両日、名古屋市応急手当研修センター(昭和消防署4階)において、(一社)愛知県警備業協会ビルメン支部主催の普通救命講習会開催され

ました。

この講習会では、①心配蘇生法の流れ②AEDの使い方を中心にセンターの指導員3名により午後の4時間(13時～17時)ゲームを使って全員が実際に体験する訓練が行われ、密度の濃い講習となりました。

特に心配蘇生においては、救命の連鎖(通報、応急手当、救急措置、医療行為)のいずれの段階においても、素早い対応が重要であり、特に救急隊が到達するまでの間の応急手当ての素早さ、的確さが救命率を高めることから、参加者は終始真剣に取り組んでいました。

最後に効果判定(実技、筆記)の結果、全員(各回16名、計32名)に終了証が交付されました。特に12月5日の講習会では、実技、筆記とも満点の受講生が3名もあり、指導員もレベルの高さに驚いていました。

今後、実際に活かすことは稀だとは思いますが、こうした訓練は何度も行うことによって身につくものですので、今後とも機会を捉えて受講されることをお勧めいたします。



## こども絵画コンクール 愛知協会長表彰式

全国協会が主催した「第7回ビルメンこども絵画コンクール」に、本年度も当協会として協賛、応援するとともに、応募作品(全国で10,238点)のうち愛知県内からの応募作品(493点)を対象に愛知協会表彰を実施しました。

経営・ビジョン委員会における審査の結果、最優秀作品の「会長賞」に輝いた岡崎市立羽根小学校4年生 瀬尾朱莉さんの表彰が行われました。



平成25年12月9日(月)13時30分から同校校長室で行われた表彰式には、松崎校長先生、担任の吉見先生にお立合いいただき、当協会から加藤会長、山口理事(経営・ビジョン委員長)、事務局長が同校に出向き、加藤会長から瀬尾朱莉さんに賞状と賞

品が贈られました。

利発そうなお嬢さんで、作文も得意とのことでしたが、受賞を機に更に大きく飛躍してくれたらと願います。

## 理事会・各種委員会等

### ◆第5回理事会

開催日時 平成25年12月13日(金)15時30分～

開催場所 アイリス愛知「サフラン2」

出席者 加藤会長始め14名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項

- ・忘年懇親会について
- ・契約・入札制度に関する愛知県への要望について
- ・賛助会の入会について
- ・その他(愛知県警備業協会の財政基盤の確立について)
- ・委員会報告/全協報告/地区本部報告/事務局報告

### ◆第5回広報委員会

開催日時 平成25年12月19日(木)10時～

開催場所 協会事務局会議室

ビルメンニュース1月号の構成について協議した。

### ◆第2回労働安全衛生委員会

開催日時 平成25年12月10日(火)13時30分～

開催場所 協会事務局会議室

- 審議事項
- ・労働安全衛生作品(ポスター・ヒヤリハット事例・標語)の審査
  - ・労働安全衛生大会(26.1.29)の運営について
  - ・平成25年度労働安全衛生パトロール実施結果について

## 会員の動き 1月1日現在会員数 普通会員 120社 賛助会員 22社

普通会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
25.12	(株)中部技術サービス	代表者	新 代表取締役社長 樽林孝尚 旧 代表取締役社長 金子登一
		登録者	新 メンテナンス部メンテナンス課 営業担当 鈴木康之 旧 営業部営業課 マネージャー 鈴木康之
	(株)グリーン総業	退会	

賛助会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
26.1	シェル商事株式会社 名古屋支店	(新規登録) 代表者 登録者 住所  TEL FAX ホームページ	代表取締役社長 岡部美楠子 名古屋支店長 福原 賛二 〒460-0003 名古屋市中区 錦2-12-14 MANHYO第一ビル 4F 052-219-6615 052-219-6617 www.shell-syoji.co.jp

## 全国協会からのお知らせ

## — 病院清掃スキルアップセミナー開催について —

全国ビルメンテナンス協会では、下記のとおり「病院清掃スキルアップセミナー」を開催いたします。特に関心の高い5つのテーマを用意し、どなたでもどの講座でも受講できるセミナーとして企画しました。ぜひ興味のあるテーマをご受講いただき、スキルアップにお役立てください。

### ■ テーマと日程

第1弾 平成26年2月24日(月)

「感染防止対策セミナー～針刺し・切創防止・吐しゃ物処理～」

第2弾 平成26年3月13日(木)

「すぐに実践に移せる病院清掃従事者研修」

第3弾 平成26年4月16日(水)

「病院インスペクションとATPIによる見える化」

第4弾 平成26年4月17日(木)

「CS向上のための業務案内書・標準作業書」

第5弾 平成26年5月8日(木)

「効率的な作業計画の立て方を身につけよう」

■ 会場:愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

■ 参加対象:病院清掃業務に関係する者

■ 参加費:会員5,000円 / 一般6,250円

(1講座受講価格。講座によって別途テキスト代が必要)

■ 定員:各セミナー30名(申込先着順)

■ 問い合わせ窓口:

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会

病院清掃セミナー係 担当:萩原

TEL 03-3805-7560 FAX 03-3805-7561

## 平成26年2月の予定

如月

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	土		16	日	
2	日	ビルクリ技能検定試験(学科)(サンプラザシーズンズ)	17	月	
3	月		18	火	清掃作業従事者研修指導者(再)講習(ウインクあいち)
4	火		19	水	中部地区本部会議(ウェスティン名古屋キャッスル)
5	水		20	木	
6	木	愛知県環境衛生管理研究集会(名古屋市教育センター)	21	金	
7	金		22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	病院清掃スキルアップセミナー(ウインクあいち)
10	月	(建国記念の日)	25	火	
11	火		26	水	
12	水		27	木	
13	木		28	金	
14	金				
15	土				

## 賛助会コーナー

### ケルヒャーは東山動植物園正門をボランティア洗浄しました。



左側が洗浄前、右側が洗浄後です。  
業務用温水高圧洗浄機 HDS8 / 15C、エンジン式高圧洗浄機 HD1050Bでコケ、土砂、排気ガスの汚れを除去することができました。



ケルヒャー ジャパン株式会社は2012年9月に名古屋市と締結した「東山動植物園の支援・協力に関する協定」に基づき、東山動植物園正門の壁・門柱・床を洗浄するクリーニングイベントを2013年4月に実施しました。当イベントは、社会貢献活動の一環として、当社社員が業務用高圧洗浄機を使用して、汚れを落とし当時の風合いを取り戻すものです。名古屋市認定地域建造物資産である小松石の正門柱(4本)は開園以来初の本格洗浄となります。4月15日は正門向かって右側半分を洗浄し、4月22日に残りの左側半分を洗浄しました。2日間、計18時間を掛けて洗浄した正門周辺はキレイに生まれ変わり、特に正門柱は76年蓄積した汚れが落ちたことで、当時の風合いに蘇りました。



ケルヒャー ジャパン株式会社  
名古屋支店

http://www.karcher.co.jp  
〒468-0052 名古屋市天白区井口1-301  
TEL 052-800-0155 FAX 052-800-0156

## 事務局だより

皆様 新年あけましておめでとうございます。

今年も昨年同様どうぞよろしく願い申し上げます。

昨年は、アベノミクス効果や東京五輪開催決定もあって経済全体が浮揚する期待が膨らんだ一年でした。一方で福島原発の処理は一向に進まず、又、中国や北朝鮮の不穏な動向も気掛かりな一年でもありました。

そうしたことから、今年も先行きの不透明感には拭えませんが、創立から50年の節目を迎える今年こそ業界・協会にとって飛翔の年となることを願いたいと思います。

まずは、6月4日に迫った記念式典・祝賀会を成功させるため事務局としても精一杯の努力をいたしたいと存じます。そしてこの50周年事業を契機として今一度皆様方の結集力が高まり、業界・協会の発展に繋がることを祈りたいと思います。